

令和3年度 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センター若竹苑PDCAシート\_公表用  
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状

担当エリアの人口は14016人、高齢化率が25.65パーセント、高齢者数は3595人、14歳以下1521人と なっています(2020年9月現在)。少子高齢化が進んでいます。2019年11月に羽沢横浜国大駅が開業 し、今後の開発で交通や買い物等の利便性の向上が期待され、バリアフリー基本構想にもとづいた、 街づくりが話し合われています。一方で、環境の変化への対応や、新たに移り住んでくる住民層との つながりや協力をどう進めていくかが課題でもあります。

「助けられ上手、助け上手な街、羽沢」のスローガンのもと、地域福祉保健計画、羽沢プロジェクトなど の住民活動が活発に取り組みされており、その結果として多くのサロン等や子どもの居場所が立ち上 がりました。区民意識調査においても、近所付き合いのしやすさ、定住意向などの向上がみられてい ます。また介護事業所等にも理解が得られ、取り組みへの参加、協力がみられています。

課題としては、いまだ孤立している世帯は多くあり、つながり作りための多様な取り組みと継続が必要 になることがあります。また、地域での子育てについての検討など、取り組みが広がる中、担い手 の裾野をひろげ、みんなで自分事としてすすめていく地域づくりが必要です。身近なつながり作りか ら、具体的な見守りや支えあいの仕組みづくりへとすすめていくに当たっては、多様な主体、機関との 連携、協働もより深めていく必要があります。

今後の方向性

地域の様々な課題にさらに取り組み、解決していくために、取り組みを、よりすそ野へと広げていくことが必要に なっています。そのためには、身近なつながりや顔の見える関係づくりをすすめつつ、担い手の発掘・育成、お 互いさまに助け合える地域文化の啓発、ひいては、地域コミュニティそのものを醸成していくことが大切です。 また、それらに長期的、計画的に取り組むために、多様な課題を、丸ごと受け止め、多くの関係者とのネット ワークを広げ、実効的な取り組みの推進母体を構築していくことも、大切だと考えています。さらに、コロナ禍に おける取り組み方の工夫を積極的に取り入れ、新たな地域づくりの在り方も模索していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	幅広い分野の相談があることも想定し、子どもや障がい、生活困窮者等の情報も随時蓄積していく。他機関、他事業所とも、日常的に関係づくりを行い、総合的な支援が展開できる体制を整えていく。 (例：他機関、他事業所を巻き込んだカンファレンスの開催など)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域福祉保健計画の推進のための取り組みを、羽沢プロジェクト、支えあい連絡会等を通して、各自治会町内会や民生委員・児童委員、各部会の具体的な取り組みとして、すそ野へ広げていけるよう地区支援チームと連携して働きかけていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽沢子育て支援ネットワークやサロン連絡会など、町会を越えた横断的なネットワーク、取り組みを支援しつつ、担い手の発掘などを通して、各自治会町内会の取り組みもサポートしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	区と連携し、元気づくりステーションの継続的な支援や体力測定の手先の育成、また、介護予防普及啓発事業やシニアクラブ出張健康講座の啓発・コグニサイズを周知し、住民が主体的に取り組むことができるよう支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーに地域資源の情報提供や仲介、ケアマネジメントスキル向上等を随時支援しつつ、他のケアプラザとも連携して研修の場を設ける。 また、地域の一員として協働して地域づくりを考えてもらえるよう、地域課題、地域の取り組みについて、知ってもらい機会をつくり、理解と連携を深めていく。

## ◆ 事業報告・事業実績評価

### 振り返り

#### 【各項目の振り返り】

・多様にわたる相談について、把握した情報や支援の実績をまとめていくことで、様々なケースに対応できるよう、取り組みました。複合的な課題を抱えたケースは、特に連携を意識し、他機関、他事業所を交えた支援を行いました。

・地区支援チームとも連携しながら、主に、羽沢プロジェクトでは、地域課題の共有や検討を、行いました。各自治会町内会や民生委員児童委員協議会等とも連携し、今年度は、地域の皆様とわくわくプロジェクトを立ち上げ、ウォーキングイベントを企画、実施しました。イベント自体を楽しむだけでなく、地域でのつながりづくりや世代間交流が感じられる、貴重な機会となりました。

・5か所の元気づくりステーションに、積極的に参加して後方支援を行った他、体力測定では多くの担い手の方に、協力を得ることができました。介護予防普及啓発事業では、地域の高齢者やシニアクラブに出張講座を行い、フレイル予防の必要性を周知し、地域の皆様が、主体的にアクション出来るよう、取り組みました。

・ケアマネジャー向けに毎月「けあまねカフェ」という、勉強会を行いました。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、オンラインと会場での開催を、併用して開催しました。ケアマネジャー同士の事業所を超えた横のつながり、医療職とのつながりが構築できる、貴重な機会となりました。

#### 【全体を通して】

新型コロナ感染症の影響が長期化する中で、地域での活動や取り組みにも様々な工夫やアイデアが必要とされています。今後は、出来ない部分に着目しすぎず、「どうやったら行えるか」という視点も、大切にしていきたいと思えます。「助けられ上手、助け上手な街、羽沢」をより多くの方が実感できるよう、地域の皆様と一緒に、様々な取り組みを進めていきたいと思えます。

### 区からのコメント

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で今までどおりの活動が難しい部分があったとは思いますが、わくわくプロジェクトを立ち上げてウォーキングイベントを企画、実施するなど新しい生活様式に合わせた活動を地域と共に取り組んでいました。

また、地域福祉保健計画と地域ケア会議を連動させるなど、地区支援チームにおける協力体制も強化されていると思えます。今後も地域を主体とした地域づくりへの支援を協力して進めていきたいと思えます。

複合的な課題を抱えたケースが増えてきている中、施設内で把握したケースを分野別にまとめていることは、包括支援センターとしての一体的な支援につながると思えます。ぜひ全職種で共有を行ってチームアプローチの強化を図ってほしいです。

羽沢子育て支援ネットワークでは、LINEを通じた新しい情報の発信や子育て応援ツールの検討など、地域の方が必要な情報が入手しやすい環境整備を進めてきました。今後、更なるネットワークの拡大と現在検討中の子育て応援ツールの発展の仕方に期待しています。

民生委員・児童委員や地区社会福祉協議会などの地域の方や事業所などの専門職と日常的に相談しあえる関係性が築けており、地域からの信頼も厚いと感じます。今後もより良い個別支援・地区支援につながるようネットワークの強化を図っていきましょう。

# 令和3年度 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センター若竹苑 事業計画書・報告書（施設運営、介護保険事業）

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公正中立な施設運営、事業展開を旨とします。相談時等の事業所紹介においては、リスト等を使用し、ご利用者様の希望の沿った事業所選択が行えるよう支援をさせていただきます。	全職員に対して、事故防止、個人情報保護の研修を実施するほか、随時他の施設も含めた事故情報を共有し、必要に応じて対策を検討します。
実績	・事業所の紹介の際には、必ずハートページを使用し、事業所の一覧表を提示。ご希望に沿って公正中立な事業所選択ができるように、対応を徹底した。	・個人情報保護に係る研修を、全職員に対して行っている。・定期的な会議で、市内のケアプラザにおける事故状況を共有し、各職員のルールを順守を徹底しました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ご本人が目標の達成に取り組んでいけるよう必要なサービスや地域のインフォーマルサービス等を組み込み、地域の特性を生かし、心身機能・活動・参加にバランスよく、アプローチする支援ができています。	
職員体制	管理者:常勤兼務 看護師:常勤兼務 社会福祉士:常勤兼務 主任ケアマネジャー:常勤兼務	
契約者数	介護予防支援:801件(委託789件) 介護予防ケアマネジメント:312件(委託281件)	

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	ふれあいコンサート&朝いち	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	つながりや見守りをテーマに、地域の方々がつながれる「場」づくりを通して、全世代がつながり・役割・居場所により、その人（子）らしく成長することができる、ふれあい活動を通しての地域づくりをすすめる。	5：地域	4	実施時期：6月下旬 事業内容：コンサートと朝いち
2	羽沢プロジェクト あおぞら昼食会	H27	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	あおぞら昼食会は、課題を抱えている人の住んでいる身近な場所で開催することで、地域の方々とのつながりづくり、支えあいのまちづくりを行うことを目的に開催している。	7：その他	5	実施時期：4月中旬から下旬 事業内容：平本花園、羽沢町公園にて、カレーを無料でふるまうイベント
3	羽沢プロジェクト 若竹苑出張相談会	H27	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題があります。そこで、地域の誰もが集まるサロンやプロジェクト、福祉まつりなどを利用し出張相談を開催することで、誰もが気軽に相談できる場を提供することを目的に開催します。	5：地域		実施時期：4月・9月 事業内容：介護保険の相談、健康相談、地域活動紹介など
4	若竹苑出張相談会 さくらサロンみやむかい	H28	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題がある。そこで、地域の誰もが集まる「場」を利用し出張相談を開催することで、気軽に相談できる場を提供することを目的に開催。	1：高齢者	5	実施時期：毎月第3水曜 事業内容：介護保険の相談、健康相談、見守りキーホルダー登録、地域活動紹介など
5	若竹苑出張相談会 長谷サロン	H30	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題がある。そこで、地域の誰もが集まる「場」を利用し出張相談を開催することで、気軽に相談できる場を提供することを目的に開催。	1：高齢者	5	実施時期：毎月第2火曜日 事業内容：介護保険の相談、健康相談、見守りキーホルダー登録、地域活動紹介など
6	けあまねカフェ	H27	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアマネジャーをはじめとして、羽沢地域に関わる事業所の横のつながりをつくりながら、医療と介護の連携、地域住民との連携、スキルアップをすすめる。	6：事業者	5	実施時期：毎月第2水曜日 事業内容：協力医である小川橋医院、鈴木先生を交えて、研修、意見交換、情報共有を行う。
7	子育て支援講座	R3	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	子育て支援に関する講座を、地域と連携して開催し、新たな担い手の発掘やネットワークづくりをすすめる、地域づくりにつなげる。	5：地域		実施時期：5月末～6月 事業内容：子育て支援に関する講座を開催し、関心のある方を地域活動やボランティアにつなげていく。
8	羽沢子育て支援ネットワーク	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	親子のおかれている状況、背景を地域全体で共有し、自分事としてとらめ地域づくりを目指す。	3：養育者及び乳幼児	5	実施時期：毎月第1金曜日 事業内容：LINEをつかった情報発信についての検討
9	外遊び応援隊コラボ事業	H30	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	①子ども対象の事業に高齢者がボランティアとして関わることで、世代間交流を行う ②世代間交流をしかけることで、地域での見守りの輪をつくる。	3：養育者及び乳幼児		実施時期：7月・9月 事業内容：水遊び
10	つどいの広場しゅーくるーむコラボ事業	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	毎年10月に世代間交流を実施しているが今年度は開催が難しいため、子育て中の親子の交流を深めるために実施。また、世代間交流の代わりにデイサービス利用者様手作りの品をプレゼントし、お礼のお手紙をいただきご利用者様へお届けする等対面ではない交流を実施。	3：養育者及び乳幼児		実施時期：10月下旬 事業内容：ハロウィンイベント
11	北部ウォーキング実行委員会	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	コロナ禍で地域のつながりが希薄している中、地域イベントをとらしてつながりづくりを行うとともに地域の人材育成を図る。	5：地域		ささえあい連絡会での課題解決をするために連合自治会の有志が集まり会議を開催。イベント開催に向けて今後は実行委員会形式で検討を行う。